

流域下水道の下水管接触事故に係る道路への影響調査の結果について

令和7年8月29日(金)に東京電力パワーグリッド株式会社が施工している電力管路の新設工事において、神奈川県が管理する流域下水道の下水管に、シールドマシン(掘削機)が接触し、管を損傷させる事故が発生しました。

このため、東京電力パワーグリッド株式会社が損傷した管上部の道路への影響調査を実施しており、その調査結果についてお知らせします。

1 実施した調査の内容と調査結果

(1) 路面の変状調査

損傷した下水管の上部道路28箇所に観測地点を設け、路面の沈下及びひび割れの発生の状況について2時間毎の観測を実施中

結果：現時点において、路面の沈下及びひび割れの発生は確認されていません。

(2) 路面下空洞調査

ア レーダー探査(※1)による路面下空洞調査を令和7年9月3日(水)に実施

※1 地中に電磁波を放射し、反射波を解析することにより地中の空洞の有無を調査する手法

結果：現時点において、路面下に空洞は確認されていません。

イ 表面波探査(※2)による路面下空洞調査を9月3日(水)に実施

※2 路面をハンマーで打撃し、地盤に発生する衝撃の周波数により地中の空洞を調査する手法

結果：現時点において、路面下に空洞は確認されていません。

2 今後について

今回の調査結果から、急激に道路陥没が発生する可能性は低い状況ですが、引き続き東京電力パワーグリッド株式会社において影響調査を実施し、異常の兆候を早期に把握してまいります。

なお、調査結果で異常が確認された場合、通行規制等を行う可能性があります。

問合せ先
中央土木事務所
電話042-769-8262(直通)
対応責任者 米多、岩下